様式2

令和2年度版　改 善 計 画

学校名：　山梨県立青洲高等学校

No	項　　目	現状と課題	令和3年度に目指すべき状態	①令和2年度に実施する内容　②令和3年度に向けて検討する内容	達成状況
1	会議等の効率化	・開校１年目なので、職員会議等における議題及び連絡報告事項が多くなることが予想されるため、時間外勤務になると思われる。 ・市川高校と合同の会議もあるので、会議における報告・連絡事項について、資料説明の有無を明確にし、時間の短縮を図る必要がある。	・会議のペーパーレス化と会議時間が縮減され、会議の効率化が行われている。	①について ・会議資料は、前日までに配付し、必ず一読してから会議に参加する。 ・議題等の提案は、簡潔に要点のみとする。 ・職員会議における報告・連絡事項について、資料説明の有無を明確にして時間の短縮を図る。 ・終了時間を設定する。 ②について ・ペーパレス化に向けて、ハイユースPCを活用した会議の実施と会議時間の縮減	
2	学校行事の負担軽減	・学校行事は、教育目標の達成のためにも生徒の成長のためにも重要であるが、一方で教員にとっては負担が大きい。	・教育課程に基づき、精選された学校行事を実施している。	①について ・各行事のねらいや教育的効果を検討して、実施する。 ・行事ごとの業務をマニュアルにわかりやすく整備することで、次年度へ正確に引き継ぐ。 ②について ・学校行事の精選	
3	校内組織の見直し	・開校１年目の構内組織なので、委員会等の数も多く、主任教員等の会議の回数が多い。	・分掌・委員会等の業務の効率化が図られている。	①について ・組織や運営方法をPDCAサイクルで確認していく。 ②について ・分掌や委員会の業務や体制の改善	
4	業務の効率化	・教科指導や部活動指導のほか、各種事務処理、放課後の生徒からの質問への対応、保護者への対応や突発事項への対応もあり、時間外勤務が増加することが懸念される。	・定時退校日や長期休業中の完全閉校日などで、各教職員が業務のON、OFFのメリハリをつけている。	①について ・時間外勤務を午後８時以降行う教員は、事前に個別申し出をしてしてもらい、午後９時までを徹底する。 ・定時退校日を設定し、徹底を図る。（年間２４回） ・各教員が出勤・退勤時間を確認し、時間を意識する中で業務への集中と効率化を促す。 ・分掌業務業務引き継ぎ書をわかりやすく作成することで、後任者の負担を軽減させる。 ②について ・きずなの日や長期休業中の完全閉校日の完全実施	
5	部活動の負担軽減	・市川、増穂商業、峡南との合同で行う部活動があり、各校との調整や練習場所、練習時間等の確保等の課題が予想される。 ・上位大会に進出する部活動も予想されるため、大会の参加日数なども多くなると思われる。 ・指導や引率に当たる教員の時間外勤務など、負担が大きくなっている。	・やまなし運動部活動ガイドライン及びやまなし文化部活動ガイドラインを基にした活動方針を、効率的に実施している。	①について ・合同部活動として部顧問を複数配置し、協力体制を構築することで一人の負担を軽減する。 ・部活動生徒の完全下校時間を徹底する。 ・週２回以上の部活動休業日を設定する。 ・土、日曜日については、原則として休養日をいずれか１日以上設定する。 ・外部コーチを効果的に活用する。 ・部活動におけるマイクロバス業務の代行を推進し、教員の負担軽減を図る。 ②について ・部活動の活動方針の見直し	
6	地域人材の活用	・峡南地域学や総合的な探究の時間の中で、外部人材を活用し、青洲学を通して地域を知る取り組みを計画している。	・地域人材活用による地域との連携強化を図っている。	①について ・行事・授業・部活動等への地域人材を活用する。 ・登校指導では、地域の方や保護者等にも協力を依頼する。 ②について ・行事・授業・部活動等への地域人材の更なる活用	

※達成状況：次のA～Dで評価し、各年度末に県立学校は県教育委員会へ、公立小中学校は市町村教育委員会へ提出する

A　達成できた　B　ある程度は達成できた　C　あまり達成できなかった　D　達成できなかった